



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第334号 (2020年6月)



4月16日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための緊急事態宣言の対象が、7都府県から全国に広げられたことに伴い、新学年が始まったばかりの学校も21日(火)から、5月6日までの予定で休校になりました。その後、発令期間が延長され、学校が再開されたのは14日。本当なら学校で勉強すべき時にずっと自宅学習となり、「ああ、早くみんなと勉強したい」と学習熱が高まったのではないのでしょうか。休校期間中にインターハイ、県高校総体の中止が決定し、がっかりしている諸君も多いと思います。春のセンバツ高校野球が中止になったとき、「感染者や医療従事者など、当事者の方々の思いやるとともに、スポーツは世の中が平和であってこそできるものだ」と学んでほしい」と元プロ野球選手の桑田真澄氏が述べました。これまで高校総体を目指して努力を重ねてきた生徒の皆さんのことを思うと大変残念ですが、仕方ありません。今後も引き続き健康に留意しながら、何事にも一生懸命取り組みましょう。

新入生校内研修を終えて

4月8日(水)に入学式を終え、10日(金)から14日(火)まで、新入生オリエンテーションが行われました。1年学年主任の納富和彦先生よりその様子についてご寄稿いただきました。

新入生校内研修を終えて 第1学年主任 納富和彦

学校生活をスムーズにスタートさせ、自発的で有意義な日々をおくることができるように、例年佐賀県北山少年自然の家において宿泊研修が計画されています。今年度も新入生は大自然に親しみ、校訓である「至誠剛健」の精神を養い、寝食を共にしながら、生徒相互及び教師との連帯感・信頼関係を深める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、宿泊は取りやめ、校内で研修を行うことになり、校内案内、学年集会、講話、自己紹介、校歌指導、集団行動などを企画しました。



校内案内では担任、副担任の引率で職員室、事務室、進路指導室、生徒指導室、各科の実習棟や準備室などの場所を覚え、入室の仕方を学びました。初めての学年集会では担任団の紹介があり、担任団の新入生に対する想いを伝えました。学年目標を「人間力を高めよう!～自分探し～」と定め、「前向きにいろんなことに挑戦してほしい。その中で大きく成長し、自分の人生を幸せなものに、周りの人の人生を幸せなものにし、そして社会に貢献できる人材になってほしい。日々の一步一步をその思いを込めて歩んでほしい。」という内容の話をしました。

校長先生の講話では「伝統ある佐賀工業に入学した誇りと自信を胸に、志高く頑張してほしい。新しく6学科でスタートする1期生として色々なことにチャレンジして新しい歴史を作してほしい。1年次からのこつこつ積み重ねた努力は裏切らない。3年間皆勤で学業に部活動に頑張してほしい。」という趣旨のお話を伺いました。生徒指導主事の前田先生からは集団生活を円滑に過ごすための心配りやマナー、身だしなみ、その場に応じた行動をとることの大切さについてお話をいただきました。進路指導部の野田先生からは、昨年度の進

路状況や企業が高校生に求める資質について説明していただき、「ほぼすべての進路が学校推薦で決まる。1年次からの出席状況、成績が大切。また部活動を頑張ること、挨拶やマナーも大切。」とご指導していただきました。

校歌指導の時間はほんの40分ではありましたが、1番を中心に、集中して歌詞を覚えて歌いました。言葉遣いが難しいのは122年歌い継がれた歴史ある歌ならではの事。校歌を大切にされている全国の卒業生の方々のことを思い、大切に歌ってほしいと思います。クラス独自の時間にはお互いの誕生日をジェスチャーだけで訊ねて誕生日順に円を作るゲームをしたり、友達のことを別の友達に紹介したりしてクラス内の親交を深めました。最終日の5時間目にはクラス対抗大縄跳び大会を実施しました。クラスのチームワークの良さが



が光る建築科が14回連続で1位、機械システム科が11回連続で飛び、2位でした。たったの40分でしたが、どのクラスも一生懸命取り組み、大いに盛り上がりました。最後に体育科の先生方のご指導により集団行動の訓練を実施しました。指示通りに正確に素早く動くことは大変難しいものですが、集中して取り組み、次第に上達していく姿が見て取れて大変嬉しく思いました。

例年とは違って短期間ではありましたが研修を通して、周りの状況を見て自分で考えて、自分で行動することを学ぶことができました。今後も失敗をすることもたくさんあると思いますが、挑む気持ちを忘れずに、高校生活を通してお互いに大きく成長してくれることを期待します。

スクールカウンセラー 青山のぞみ先生

4月15日(水)は今年度最初のスクールカウンセラー相談日でした。昨年に引き続き、今年度も臨床心理士の青山のぞみ先生が皆さんの相談に乗ってくださいます。先生からメッセージをいただきました。

～生徒の皆さんへ～

佐賀工業高等学校のみなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの青山のぞみです。佐賀工業高等学校を担当させてもらうようになって、今年度で2年目となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年とは大きく異なった始まりとなりました。不安の中でのスタートですが、みなさんはどのように毎日を過ごしていますか？

休校のため学校で授業を受けることも部活動もできず、友達に会えない日々もありましたが、自分なりに生活のリズムを崩さずに生活できたでしょうか？新しい学年での新生活がスタートしたばかりでの休校でしたので、戸惑っている人も多いかもしれませんね。「ピンチはチャンス」の気持ちで、視点をかえて、みんなで乗り越えていきたいものです。

この1年間も、心身ともに大きく成長していく皆さんのさまざまな悩みに寄り添い、有意義な高校生活を送るためのお手伝いができればと考えています。気軽に相談しに来てくださいね！

～保護者の皆様へ～

保護者の皆様も、子どものことや子育てのことで、気になること、何かうまくいかないこと、他の子どもはどうなのだろう・・・など、どのようなことでも構いません。一番身近にいる保護者の方だからこそ気づかれる小さな変化に、子どもさんのSOSがあらわれていることもあります。どうぞお気軽にカウンセリングをお申し込み下さい。

みなさんの学校生活が楽しく、充実したものとなるお手伝いをさせていただきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いします。



オンライン学習のための環境整備をすすめています

この度の休校時は、オンライン授業に向けての環境整備が行われました。学校と家をメールで結ぶために、生徒諸君は、まず4月20日 Google Chrome（グーグルクロム）をダウンロード。その後、学校から1、3年生は4月24日、2年生は4月27日に、メールをやりとりするためのツール Outlook（アウトルック）の設定マニュアルが郵送され、各自設定に取り組みました。4月中にテストメールを送信し、生徒諸君は返信しましたが、クラスによって返信数は15～39名とばらつきがありました。Google Chrome がまだ入っていない、マニュアル通りに設定ができない、メールが来ていることに気づいていないなど問題は様々です。今後必要になったときに使用できるよう、環境を整えていきましょう。



休校中には先生方も各自で県から配布されたオンライン授業のマニュアルを手に試行錯誤し、5月7日、12～15日には、Teams（ティームズ）というビデオ会議ソフトを使ったオンライン授業の職員研修が行われました。先生方に感想を伺いました。

「家で生徒が、教科書を開くようにパソコンを開くのは難しそうです。（井手秀成先生 地歴・公民科）」「画面の共有を使ってみたい。グラフの正解などを示しやすいです。（相本和哉先生 数学科）」

「通信が途切れるし、もっとスムーズに動いてくれないと…（田

中健一先生 数学科）」「電話と違って実際に生徒の顔が見られるので、普段の授業に近くなるのかなあ…（熊丸正美先生 建築科）」「実際に使うのだったら、手書きで手元を映すのを試してみたいです。レコーディングして何度も見られればいいですね。ただ6時間ずっとパソコンに向かうのは…（中島桂子先生 英語科）」「うまく繋がらないこともあって難しいところもあるし、操作方法を身につけなくては。（中村道夫先生 電子情報科）」「『ストリーム』という動画を共有するソフトで、例えば旋盤の動かし方などを自宅でイメージトレーニングできるように使えるのではないかと思います。（徳永謙太先生 機械科）」「ネットワークの状況によって、オンライン授業は上手くいったりいかなかったりする。説明するためには必要だけど、メールでのやりとりの方が確実ですね。（山下利秀先生 電子情報科）」「動画としてあげることができれば、生徒は復習しやすいです。会議ソフトはチャットもできるし、コミュニケーションのツールになると思います。（玉井恭平先生 機械科）」

5月8日（金）、11日（月）の2回、建築科2年でテストが行われました。8日の参加生徒は25名、11日は15名。担任の熊丸先生がパソコンを通して指示を出し、生徒はチャット機能を用いて会話しますが、点呼をするだけでもかなり時間がかかりました。テストを終えた熊丸先生は、「操作に慣れていないので使えるようになるのはこれからです。今回やってみて、生徒の元気な顔が見られる点はよかったです。なかなか指示が通らないので、落ち着いてから生徒も学校で練習する必要があると思います」と感想を述べられました。

そして14日（木）から授業が再開され、18日（月）からはHRや授業で、教師・生徒ともに操作に慣れるための試行が行われました。当面はオンライン授業は必要ありませんが、第二波がやってきたときには滞りなく使用できるようにしっかりと備えましょう。



指示を書いたボードを手にカメラに向かう熊丸先生(左)と見学する先生方

6 月 行 事 予 定

日 曜	行事予定
1 月	
2 火	交通講話（1年）、ボランティア活動（2年）、小論文指導（3年）
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	中間考査
9 火	↓
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	SAGA 2020 SSP杯（～7/30）
14 日	
15 月	
16 火	QUテスト（1、2年）
17 水	
18 木	内科検診（全学年） 機械製図検定1次
19 金	
20 土	第5回高校生溶接技術競技大会佐賀県大会
21 日	
22 月	実力診断テスト（3年）、基礎力診断テスト（2年）
23 火	人権・同和教育校内授業
24 水	スクールカウンセラー来校日
25 木	レントゲン間接撮影（1年）、計算技術検定
26 金	情報技術検定
27 土	第18回ものづくりコンテスト佐賀大会
28 日	
29 月	
30 火	



お知らせ ◆佐賀県では地球温暖化対策及び節電意識向上のため、県を挙げて夏季期間中は上着及びネクタイを着用しないこととしています。本校におきましても、特別な場合を除き、6月1日から9月30日までの期間は、基本的に上着及びネクタイの着用を要しないことといたします。また5月の1か月間を移行期間とし、必ずしも上着及びネクタイの着用を要しないものといたします。趣旨をご理解いただき、ご来校の際はどうぞエコスタイルの軽装でお出かけください。

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<http://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 この春高校に入学し、たった2日登校したきりで家庭学習をしている神奈川の友人の子から、黄金週間に手紙が届き、因数分解の質問を受けました。

$2x^2+xy-y^2+7x-5y-4$ 恥ずかしながら、私は高校生の時、「たすき掛け」ができず、自分のやり方で解いていました。返事を送るために、原口先生にたすき掛けを教えてくださいと、あら不思議、すんなりわかりました。30数年前の積み残しをやっと片づけた、そんな気持ちです。そして無事、解法を送ることができました。原口先生、多謝！ K